



みんなの幸せのために

市木小学校6年 山内 美空



みなさん、この世の中で生きるみんなを幸せにしたいと思ったことはありますか。戦争、差別、貧困など、世の中の様々な問題を知って、みんなが幸せな世の中になってほしいと思ったことがあるのではないかでしょうか。私も、みんなが幸せな世の中を過ごしてほしいと思っています。ところが、思ってはみても実際に行動に起こすことは難しいです。どこかで他人事になつたり、しょうがないと思つてしまつたり、自分のことで精一杯になつたりして、いつのまにか問題から目を背けてしまつていることがあります。みんなが幸せに生きるために、私たちはどうしたらいいのでしょうか。

ある時、ペットショップにすごく弱つて、値段が下げるられた犬を見かけました。「売れ残つたらどうするのだろう」と疑問に思い、関連する本を探して調べると、恐ろしい言葉を目にしました。

「殺処分」。一日に何百匹もの犬や猫が、命を処分されているそうです。殺処分される原因は様々です。飼えなくなつたら捨ててしまつたり、無責任に増やしたりする人がいること、売れ残つた生き物の譲渡が難しいことなどが挙げられていました。

私は3歳のころから犬を飼つていて、動物が大好きです。一緒にいるといやされて、幸せな気持ちになり、家族の様に共に過ごしています。でも、世の中には同じ生き物なのに、人間から物のように扱われる犬や猫がいることを知り、悲し



く、悔しい気持ちになりました。今まで知らなかつたことを知つたことで、その問題が自分事として解決したい問題に変わりました。

私は、「全ての生き物の命が平等に扱われるような世の中を生きたい。人間も動物もみんなが共に幸せに生きる世の中であつてほしい。」そう強く思うようになりました。

私はそんな世の中のために、自分でできることから始めます。私が犬や猫を預かって保護することができたらいいですが、それは難しいです。しかし、殺処分について考え方を改めることを呼びかけることはできます。今この場で、こうして自分の考えを伝えることでも、何かしらの力になつてはいるはずです。これからも疑問や関心をもつたことについて情報を集め、その問題の真実を知る努力を続けようと思います。

想像して、知つて、学んで、行動し、この世界をよりよくできる生き物。それが、私たち人間なのではないでしょうか。私たち一人ひとりがなすべきことを自覚し、世の中にある様々な問題を他人事として考えず、自分事にして考えると、自ずとみんなが幸せな世界になると思います。そんな未来のために、私も自ら幸せを作つていける大人になりたいです。

